

今、木とかわりを持つということ

木がいつも身近にあった日本人の暮らし。私たちは、その心地よさを改めて考えることもなく、21世紀を迎えてしまいました。気がつけば、山は荒れ、街はコンクリートとガラスで覆われています。「木はいいね」と言いながら、木の文化を見失いつつある。それが今の日本です。

木愛の会は、建築やまちづくりの立場から、もう1度木を見つめ直し、街に、暮らしに、木を取り戻していこうと考えています。地球温暖化が叫ばれている今、日本の森林の再生、国産材の活用、そして「第二の森林」と呼ばれる木の建築に大きな関心が寄せられています。この機会に、それぞれの立場で、一人ひとりが木とのかかわりを結び直すことが大切です。

これまでの活動 木愛の会は、2006年12月に設立総会を開催し、以降さまざまな活動を続けています。

◎セミナー・見学会

新しい木の建築、木の建築のよさを学ぶセミナーや見学会を開催しています。



木造建築見学会「南大高保育園」(名古屋市緑区) (2014.3.26)



ベトナムの竹建築-wNw cafe (ホーチミン) (2012.8)



「Hakuba house 竣工見学会 + 長野県木造現代建築ツアー」(2013.5.25 ~ 26)

◎セミナー・講演会

新しい木の建築に関わる技術や動向について学ぶセミナーや講演会を開催しています。



「これからの木質材料」石山央樹氏 (2012.10.17)



勉強会「素材と空間・素材と建築」陶器浩一氏 (2014.7.3)

◎シンポジウム・トークセッション

木造都市の可能性について語りあうシンポジウムやトークセッションを開催しています。



「都市木造の可能性 - 公共建築の未来はどうか?」河村たかし市長 VS 高松伸会長 VS 腰原幹雄東大准教授 (2010.10.9)

◎展示会

新しい木の建築や木愛の会の活動を紹介する展示会を開催しています。



ティンパライズ建築展-都市木造のフロンティア in なごや- (2010.10.9 ~ 16)

◎竹林居 (2013年)

ベトナムでの竹建築の出会いから竹建築の可能性を追求する試みとして生きた竹を使いステージを製作しました。



◎竹林居 II in 安昌寺 (2014年)

多くの人に竹建築の可能性をみってもらうため幹線道路に面するお寺の駐車場を借用。小屋を組み合わせることでステージを製作しました。ながくてアートフェスティバル「どこでもアート」部門参加



爛漫プロジェクト パフォーマンス ステージ (2014.10.11)



「竹林居 II in 安昌寺」DUO yuri & eri かがや姫ズ コンサート (2014.10.19)

◎設計競技

新しい木の建築や都市の中での木のあり方についてのアイデアを競うコンペを開催しています。

■第1回設計競技「新しい木の建築」 - 魅了する木造都市へ - (2008.8)



ポスター

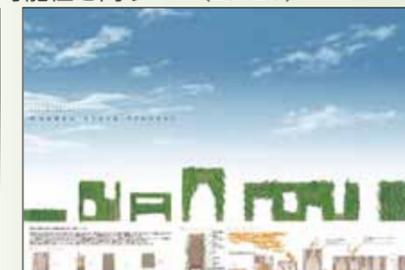


最優秀賞

■第2回設計競技「間伐材丸太による小建築」 - 木造都市での可能性を問う - (2012.3)



ポスター



最優秀賞



第2回設計競技 公開講評会 + 講演会 (2012.5.26)



木愛の会コンペ優秀作品 実施展示会-モリコロパーク 地球市民交流センター「第6回 人と自然の共生国際フォーラム」にて (2012.10.13)

◎世話人会

原則月1回、会の運営とともに木造都市の創造にむけた意見交換を行っています。オブザーバー参加歓迎。

会長	高松伸 (建築家・京都大学名誉教授)
副会長	加納隆/谷口元 (名古屋大学名誉教授)
代表世話人	田中英彦
副代表世話人	酒井賀津子/東海林修/福井徹也
事務局長	石田富男
世話人	佐藤美樹/肥田都吉/佐々木啓芳 大影佳史/太幡英亮/小林雅和/古田誠 佐藤栄次

世話人会・セミナー・展示会の会場として借用させていただいている丸美産業本社ビル-木質ハイブリッドビル (設計:高松伸)

